

花のまつり2010

10月8日(金)・9日(土)・10日(日) とりぎん文化会館

目的 花の生産者から一般消費者に至るまで、幅広い範囲を対象とした総合イベントとして、生産者の技術向上・栽培意欲の高揚を図るとともに、県民の花と緑に対する関心を高めることを目的に毎年開催する。

主催 鳥取県花き振興協議会

後援 鳥取県、鳥取県議会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、鳥取県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、(株)鳥取花市場、(株)倉吉花き市場、(株)東亜青果、鳥取生花商園芸組合、倉吉花商組合、米子花商協同組合、とっとり花回廊

協賛 天野種苗店、大塚化学(株)、白木屋種苗(株)、シンジェンタシード(株)、タキイ種苗(株)、(有)田口種苗園、(有)谷本種苗園芸、(株)中国種苗、フジ日本精糖(株)、ふらっぷ21、みのる産業(株)、(株)ムラカミシード、(株)森下商事、(株)ランドサイエンス



第40回鳥取県花き品評会

(受賞作品の一部の紹介)



左：農林水産大臣賞 森田等(米子市)スプレーバラ

中央：農林水産省生産局長賞 杉川一二美(北栄町) マイクロアスター

右上：中国四国農政局長賞 遠藤達也(伯耆町) パンジー(花壇苗)

右下：鳥取県知事賞 治部美智子(国府町) ニシキギ

出品品目	出品数
キク	5
バラ・カーネーション	9
宿根草・球根類	8
1・2年草	41
枝物類	16
鉢物・花壇苗	28
合計	107

審査経過

10月8日、審査会場において14名の審査委員が、市場性、商品性、技術水準、経営・その他の基準に基づき、出品財を慎重に審査した。本年度は品質の高いものが多かったが、その中でも総合評価の高いものが賞に選出された。

審査風景（10月8日）



第13回フラワーデザイン協議会
(受賞作品の一部の紹介)



左：一般部門 鳥取県知事賞 生本礼子

中央：プロ部門 鳥取県知事賞
岸田泰孝 (花キシダ)



右：高校生部門 鳥取県知事賞 井畑まどか (米子松蔭高校)

部門	出品数
プロ部門	27
一般部門	7
高校生部門	26
合計	60

審査経過

10月8日、審査会場において5名の審査委員が、プロ部門、一般部門、高校生部門の各作品を慎重に審査した。本年度はレベルの高いものが多かったが、その中でも総合評価の高いものが賞に選出された。

審査風景 (10月8日)



下段左写真：8、9日には来場者によるアレンジメント作品の人気投票が行われた。

来場者人気第1位

高校生部門 井畑まどか (米子松蔭高校)

(高校生部門 鳥取県知事賞受賞作品)

園芸教室

寄せ植え教室（講師：山陰園芸センター ピアンタ）



フラワーアレンジメント教室（講師：鳥取花商園芸組合）



園芸セミナー

園芸研究家で、多くのTV出演や新聞、雑誌の執筆活動も行っておられる矢澤秀成氏を講師に迎え、「人は花を育てる 花は人を育てる」をテーマに講義頂いた。



特別企画

フラワーデザイン講習会（講師：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会）



来場者プレゼント 県産花壇苗の無料配布

県内産の花壇苗（ビオラ）を来場者（先着100名）にプレゼントした。



フラワーオークション・展示品即売会

鳥取県花き振興協議会 国本会長による展示品のオークション。



園芸資材・用品等の展示

協賛各社による新製品と花の新品種の参考出展

